

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年11月18日時点)

➤ **ウクライナ軍が露西部クルスク州における作戦及び露領内への無人機攻撃を継続する一方、露軍は、ウクライナ東部への攻勢及びウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続しつつ、クルスクへの攻勢を強化する模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

- 露軍: 死者約18万人(ゼレンスキー大統領24年2月25日)  
: 死者約20万人、負傷者約40万人(WSJ24年9月17日)  
: 死傷者64.8万人以上(英国防省24年10月7日)
- 「ウ」軍: 死者3.1万人(ゼレンスキー大統領24年2月25日)  
: 死者約8万人、負傷者約40万人(WSJ24年9月17日)
- 「ウ」市民: 死者10,582人以上、負傷者1万9,875人以上(UN24年2月22日)

- 米紙は、露が、「ウ」制圧下におかれたクルスク州地域の一部を砲撃等により取り戻しつつあり、米「ウ」当局者によれば、露が北朝鮮兵士を含む兵士5万人で、クルスク州において大規模な攻勢を準備している旨報道(11月10日)
- ゼレンスキー大統領は、困難な戦線であるクラホヴェ及びポクロウスクについて、大幅に強化するとの「ウ」総司令官の決定に言及。また同大統領は、クルスク方面について、「ウ」部隊が約5万人の敵部隊を押し留め続けている旨発言(11月11日)
- 露国防省は、10日にドネツク州ヴォウチェンカ村、11日にハルキウ州コリスニキウカ村、13日にドネツク州リウノポリ村、14日に同州ヴォズネセンカ村を解放したと発表

- 「ウ」空軍は、露軍が9日から10日にかけて記録的な数となる145機の無人機で首都キーウ等を攻撃と発表(11月10日)
- 英メディアは、「ウ」が、モスクワを少なくとも34機の無人機で攻撃し、これは侵略開始以来、同市に対する最大の無人機攻撃であると報道。露国防省は、モスクワ州での34機を含め、計70機の「ウ」無人機を撃破と発表(11月10日)
- 「ウ」空軍は、露が、キーウ州等に対して、S-300ミサイル×2発、Kh-101巡航ミサイル×2発、「イスカンデルM/KN-23」弾道ミサイル×2発、「Shahed」攻撃型無人機及び不明無人機×90機から成る攻撃を実施と発表。キーウ市軍政局は、露がキーウに対し、73日ぶりにミサイル・無人機複合攻撃を実施し、空中発射巡航ミサイル、「KN-23/KN-24/イスカンデルM」弾道ミサイル及び「Shahed/Gerbera/Parodiya」等の様々な無人機を使用したと思われると発表(11月13日)

- ボレルEU上級代表は、これまで98万発以上の砲弾を供与したとし、チェコ政府主導の取り組みと併せて年内に150万発以上の砲弾を供与すると発言(11月11日)
- 米国務省副報道官は、露東部に派遣された1万人以上の北朝鮮兵士の大半がクルスク州に移動し、露軍と共に戦闘作戦に参加し始めたと言及(11月12日)
- 「ウ」メディアは、北朝鮮製170mm自走砲が露国内で鉄道輸送されている模様と報道(11月14日)



- 主要都市(下線は州都)
- 💣 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 🟡 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 🟢 ウクライナ軍が占領した地域

国土院標準地図を加工

資料源:ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等